

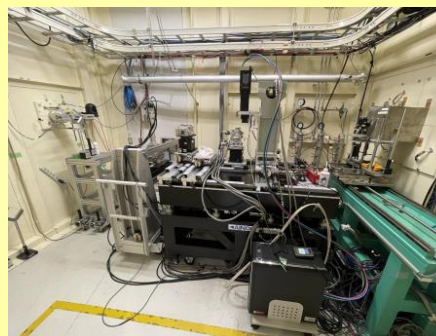
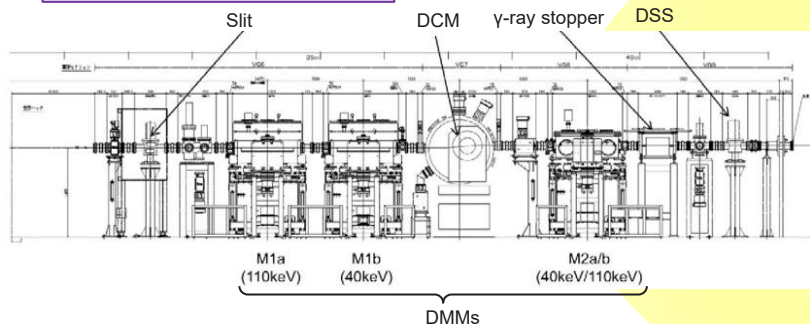
X線イメージング法の利用できるビームライン

ビームラインの特徴

BL20B2は偏向電磁石を光源とした中尺ビームライン(BL)です。光源からエンドステーションまで215 mあり、最大ビームサイズは、横300 mm x 縦20 mmほどとなります。使用可能なエネルギー範囲は、二結晶分光器の場合7~72 keV、多層膜分光器の場合40 keVと110 keVです。

蓄積リング棟には実験ハッチ1があり、高分解能あるいは高速度撮影に利用されています。中尺BL実験施設には実験ハッチ2と3があり、比較的大きな化石や小動物の観察など広い視野を必要とする実験が行われています。中尺BL実験施設と実験動物維持施設は渡り廊下で繋がっており、動物実験が行いやすい環境が整っています。

BL20B2 光学ハッチ内の模式図



BL20B2実験ハッチ内のレイアウト

実験ハッチ2・3

大視野X線マイクロCTセットアップ
 X線位相CTセットアップ
 X線用光学素子評価用ステージ
 移動式大型検出器用ステージ

標準的な画像検出器画素サイズと視野サイズ

- ・画素サイズ：15.5 μm
- ・視野サイズ：32 mm (H) x 32 mm (V)

実験ハッチ1

高分解能X線マイクロCTセットアップ
 高分解能位相CTセットアップ
 可搬型多目的試料ステージ
 時分割イメージング

標準的な画像検出器画素サイズと視野サイズ

- ・画素サイズ：2.7 μm
- ・視野サイズ：5.5 mm(H) x 5.5 mm (V)



蓄積リング棟内実験ハッチと中尺BL実験施設へつながる真空パイプ



中尺BL実験施設内実験ハッチ
 実験ハッチ2と3をつなげて利用可能